

# I. 調査結果概要

調査・各項目のデータは、加盟組合が記載したものを掲載しています。回収数、組織・地域のアンバランスなどがありますが、比較データとしてご活用頂き、賃金・労働条件改善の一助になればと思います。(数値の単位は「円」です。)

## 1. 平均賃金

全体の平均賃金（基本給、所定内賃金）は、下記（１）のとおりです。18春闘確定後の平均勤続年数は、「正職員」10.6年、「医師除く正職員」11.2年です。また、平均年齢は「正職員」が40.1歳、「医師除く正職員」が40.0歳です。同一組合の平均賃金の比較（２）（３）では、同一組合の対象数にばらつきがあるため、参考数字としての扱いとなります。

### （１）全体平均

	<正職員>		<医師除く正職員>	
	18春闘確定前	18春闘確定後	18春闘確定前	18春闘確定後
基本給	284,323	283,950	264,609	262,445
所定内	327,992	325,882	297,887	288,586

### （２）同一組合平均の比較（正職員）

	基本給（34組合）	所定内（26組合）
18春闘確定後	282,135	328,164
18春闘確定前	280,543	327,868
差	1,592	296

### （３）同一組合平均の比較（医師除く正職員）

	基本給（42組合）	所定内（24組合）
18春闘確定後	262,641	297,124
18春闘確定前	261,880	295,878
差	761	1,246

## 2. モデル・ポイント賃金

モデル・ポイント賃金の平均は、下記の一覧表（1）です。全体的にはほぼ前年並みです。「低い初任給」と「ねたきり賃金」になっています。

### （1）モデル・ポイント賃金の平均

	初任給	35歳	50歳	59歳
医師	321,668	527,575	714,168	757,693
薬剤師（6卒）	221,517	294,767	378,170	399,466
助産師	209,969	288,953	368,452	387,988
看護師	200,972	279,434	356,466	374,446
准看護師	175,506	257,013	326,979	342,090
看護補助者・助手	155,513	237,061	293,474	310,125
放射線技師	190,260	276,460	360,409	380,469
臨床検査技師	187,777	273,243	356,415	372,746
理学療法士	191,562	275,664	354,736	373,252
作業療法士	192,456	274,591	352,672	372,972
臨床工学技士	188,358	275,084	357,182	377,582
言語聴覚士	190,875	274,770	353,349	372,347
臨床心理士	195,910	268,696	350,297	370,028
歯科衛生士	177,773	260,709	332,916	350,435
歯科技工士	177,327	268,336	345,373	364,314
管理栄養士	187,010	266,186	343,068	363,276
栄養士	174,535	260,809	334,857	356,982
調理師	159,551	245,112	308,707	330,536
保育士	170,118	257,876	324,495	339,092
介護福祉士	164,844	240,385	300,613	317,131
初任者研修・ヘルパー2級	156,530	228,978	282,012	296,687
大卒事務	181,535	258,381	337,465	353,943
高卒事務	157,048	250,168	322,330	339,883
労務	151,210	239,878	298,716	314,505

## (2) 同一組合による看護師・介護福祉士の前年度平均との比較

介護福祉士・看護師・高卒事務で比較を行っています。介護福祉士については、「初任給」で前年比+165円、「35歳」で+42円、「50歳」で+435円、「59歳」で+115円となっています。

看護師については「初任給」で+139円、「35歳」で+251円、「50歳給」で-311円、「59歳」で-649円となっています。

高卒事務についても、「初任給」は+13円、「35歳」で+35円、「50歳」で-12円上がったものの、「59歳」は-487円となっています。

介護福祉士		初任給	35歳	50歳	59歳
2017年度	全体平均	164,739	241,185	302,211	318,079
2018年度	全体平均	164,904	241,227	302,646	318,194
前年差		165	42	435	115

看護師		初任給	35歳	50歳	59歳
2017年度	全体平均	198,661	276,208	354,367	375,698
2018年度	全体平均	198,800	276,459	354,056	375,049
前年差		139	251	-311	-649

高卒事務		初任給	35歳	50歳	59歳
2017年度	全体平均	157,250	249,140	320,242	340,693
2018年度	全体平均	157,263	249,175	320,230	340,206
前年差		13	35	-12	-487

### 3. 最賃協定額

最賃協定額の平均は、下記(1)のとおりです。すべての職種の月額・時間額・日額が、若干上がりました。「誰でも」の時間額は15円上がり898円となりましたが、18年地域最賃の全国平均は昨年から26円引き上がり874円と地域最賃の上げ幅に追いついていません。

最賃協定額の「最高」と「最小」の差は引き続き大きく、看護師月額の格差は約8万円、時間額でも950円もの格差があります。

#### (1) 最賃協定額の平均

	月額	日額	時間額
看護師	199,184	8,980	1,237
准看護師	172,725	7,882	1,095
初任者研修・ヘルパー 2 級	155,843	6,994	947
誰でも	152,436	6,537	898

(2) 最賃協定額の最高と最低の差 (看護師・誰でもの場合)

看護師	月額	日額	時間額
最高	230,000	10,992	1,800
最小	150,500	7,336	850
差	79,500	3,656	950

誰でも	月額	日額	時間額
最高	180,000	8,280	1,500
最小	125,500	5,068	740
差	54,500	3,212	760

#### 4. パートの賃金

パートの時間額平均は、以下の通りです。地域や病院性格別の差が大きく、「最高」と「最小」では2倍を超える格差となっている職種が多くみられます。看護師では3倍近い格差です。一時金の支給基準については、「経験で支給」「正職員と別基準」が圧倒的になっています。

	看護師	准看護師	事務部門	給食部門	介護福祉士	初任者研修・ヘルパー 2 級
平均	1,265	1,136	911	923	972	929
最高	2,400	2,000	1,341	1,406	1,550	1,310
中位	1,017	1,130	760	876	970	920
最小	850	800	730	770	750	750

#### 5. 退職金

(1) 算定基礎 「集計表」を参照下さい。算定基礎に「基本給」をしているとの回答は 113、そのうちその他の手当を含めているとの回答は 36 となりました。

#### (2) 退職金支給開始時期と支給月数

支給開始時期は平均で就職後 3 年、支給月数は 1.7 ヶ月でした。

#### (3) 退職金支給月数

定年年齢に一番近い「40 年」でみると、「希望（自己）退職」で平均 44.9 ヶ月、「定年退職」で平均 47.1 ヶ月です。全体の最高 65.0 ヶ月、中位でも 48.6 ヶ月、最小 8.0 ヶ月で、組合間格差がかなりあります。

#### (4) モデル退職金

看護師のモデル退職金は下記のとおりです。支給額の最高と最小では大きな格差があり、病院性格別では、大学や公的地場・自治体が高く、一般や福祉が低い実態です。

	月数	支給額
平均	47.5	17,660,400
最高	65.0	27,615,475
中位	47.7	17,503,920
最小	21.0	3,139,000

\*月数と支給額はリンクしていません

#### (5) パート・非常勤職員の退職金制度

制度が「ある」と答えたのは 16 組合でした。

以下については、集計表をご覧ください。

6. 中途採用者の前歴加算

7. 早出手当

8. 遅出手当

9. 待機・呼出し手当

10. 夜勤手当

11. 家族手当・住宅手当

12. 各種手当、年間一時金

### 13. 年間総労働時間

1日の労働時間では拘束8時間31分、実働7時間32分、休憩59分となりました。また1週間の労働時間の平均は拘束43時間20分、実労働38時間33分です。年間総労働時間の平均は1881時間22分で、昨年よりも約5時間改善しています。最も長い年間総労働時間は2046時間でした。性格別では軒並み1800時間を超えています。

### 14. 36協定、夜勤協定

時間外協定(36条協定)が「ある」が88.8%、「ない」が3.49%、無回答が7.69%でした。「ある」と答えたうちの特別条項の有無については、「ある」が44.9%、「ない」が44.9%となっています。特別条項の内容では、1か月の上限で最長時間は、「医師」が120時間、「看護師」が90時間、「事務」が100時間でした。

夜勤協定は、178組合中80組合で協定があり、協定がないのは41組合、無回答が22組合でした。

以下についても、集計表をご覧ください。

### 15. 年間休日

### 16. 週休の形態

「完全週休2日制」28.7%で昨年と比べると1ポイント下がりました。「4週8体制」28.0%と昨年比で3ポイント上がりました。

### 17. リフレッシュ休暇

### 18. 賃金・労働条件の改悪の動きについて

#### (1) 職能給・成果主義賃金について(カッコ内は前年値)

回答のあった137組合中、「導入の動きはない」が92組合67.2%(69.0%)、「提案されている」「動きがある」12組合8.8%(9.1%)、「以前から導入されている」23組合16.8%(15.5%)となっています。「この1年間に導入された」も10組合7.3%(6.3%)となっています。

## (2) 退職金の切り下げなどの動向（カッコ内は前年値）

回答のあった 135 組合中、「動きはない」92 組合 68.1% (69.1%)、「動きがある」10 組合 7.4% (10.3%)でした。「現在提案されている」8 組合 5.9% (3.7%)、「この 1 年に実施」「1 年以前に実施」25 組合 18.5% (16.9%) となっています。切下げの動きが強まっています。

## 19. 安全・衛生委員会の実態

(1) 安全衛生委員会の設置については、「ある」が 141 組合中 127 組合 90.1% (前年 89.0%) となり、ほぼ横ばいです。

(2) 委員会の構成については「労使ほぼ同数」が 124 組合中 94 組合 75.8% (76.6%)、委員会の開催は「月 1 回定期的」が 88 組合中 79 組合 89.8% (85.7%) となっています。

(3) メンタルヘルス対策について「委員会で論議している」が 126 組合中 108 組合 85.7% (86.5%) で、昨年よりも減っています。

## 20. ストレスチェック

ストレスチェックは 122 組合中 102 組合 83.6% (80.3%) で実施されています。

高ストレスとの診断をうけた人のいる組合は 26 組合 25.5% ありました。実施結果を委員会で審議したのは 56.9% (45.6%) と増加の傾向が見られます。

以上